

「情報モラル」の向上を！

情報社会の進展により、インターネットや携帯電話などが急速に普及する中で、子どもたちがトラブルに巻き込まれる事件が起きています。さらに、インターネットの掲示板や携帯電話のメールによるいじめ(ネットいじめ)が起こるなど、新たな問題も発生しています。

思わぬトラブルが……

インターネット上に、身の回りで起きた出来事を発信したり、友達の書いた日記などにコメントを書き込んだりする子どもたちが増えています。軽い気持ちで書き込んだ言葉でも、相手を傷つけ、思わぬ形でトラブルにつ

ながることがあります。また他人に成り済まして誹謗中傷の書き込みをするなどのトラブルが起きたり、個人情報流出により、嫌がらせを受けたりするなどの被害も発生しています。

情報モラル教育を実施しています

各小中学校では、こうした状況を踏まえ、情報社会の便利な部分と危険な部分を知り、インターネット上の情報を正しく理解し判断する力や、利用する態度や心構えを身に付けることを目指しています。そして、学校の教育活動全体を通して「心」と「知恵」の二つの内容を中心に情報モラルを身に付けるための学習活動を行っています。

情報モラル教育

- 情報に関する権利を尊重して責任ある行動を取る態度を学ぶ

心

- 情報社会におけるルールやマナーを理解し、それらを守ろうとする態度を学ぶ

- 情報社会の一員として、適切な判断や行動を取る態度を学ぶ



情報モラルとは？

情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方や態度

- 情報社会の危険から身を守り、危険を予測し、被害を予防する知識や態度を学ぶ

知恵

- 情報セキュリティの考え方や、対策・対応についての知識を学ぶ

※参考資料：「情報モラル教育実践ガイダンス」（平成 23 年 3 月国立教育政策研究所教育課程センター）

教 育 委 員 コ ラ ム



知っていますか？ 「旭3S」

教育委員会委員
 八木 雅之

標題の旭3S、多くの市民の皆さまには耳慣れない言葉であろう。実は「Asahi Support System for Students」の頭文字を取った生徒たちへの支援システムを意味している。6年前に発足した旭3Sは、市内の子どもたちの社会的貢献活動が積極的に展開できるように、その資金的裏付けとなる助成金を提供し、子どもの学びの幅を広げるために立ち上げられたものである。

「先立つものは金」とよく言われるが、子どもたちの学

習活動とて例外ではない。「地域をもっと住みよくしたい」「多くの市民に喜んでもらいたい」「社会のために役立つことをしたい」と考えても、いざ実行となれば、思いの外、資金が必要となる。そこで志に賛同する方々から浄財を募り、子どもたちを支えようということになった。主なメンバーは、ライオンズクラブ、ロータリークラブ、青年会議所、教員などだが、趣旨に賛同する個人、企業団体など市内外から（現在約200名、40団体）、90万円近い浄財が寄せられ、昨年度は7つの試みに50万円ほどの助成を行えた。

助成を受ける子どもたちは、企画、立案、渉外活動、予算案などを検討し審査会で発表しなければならない。見知らぬ大人を前に堂々とした発表をする子どもたちに未来を感じるのは、おそらく私一人ではあるまい。3月には東総文化会館で成果発表会がある。ぜひ足を運んでいただき、子どもたちの勇姿を見ていただきたいと切に願うものである。